

今回紹介する団体：水土里ネットひろしま

(1 / 2)

取組概要

内容：環境調査で確認された動植物のデータを水土里情報利活用促進事業で整備した地図データ等へ取り込み情報を蓄積する。将来近傍箇所
で環境調査を実施する際、事前に傾向を予測し業務の効率化を図る。

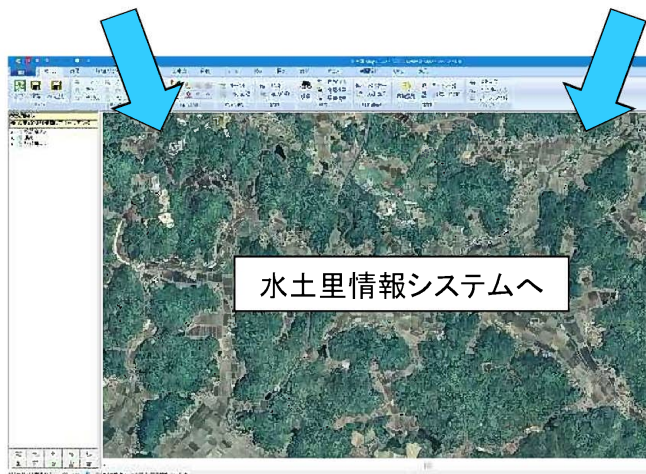
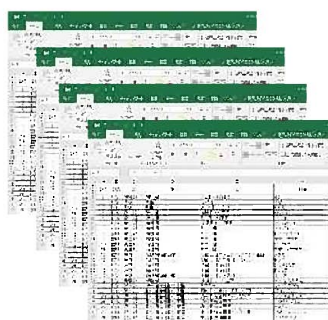
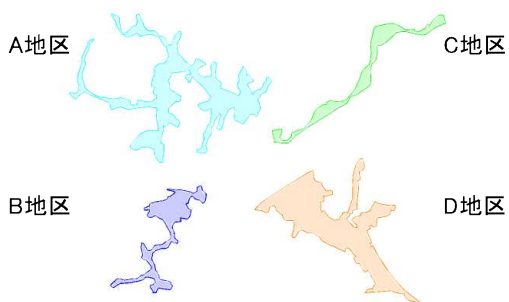
経緯：①土地改良法の改正により環境との調和に配慮した事業実施に向け
環境調査は必須であるが、生育・生息している動植物の種類は非常に多い。

②環境調査結果は地区毎に整理しているが、動植物のデータを一元化・可視化した資料がこれまでなく、新規事業計画時において近傍環境の傾向把握に時間を要していた。

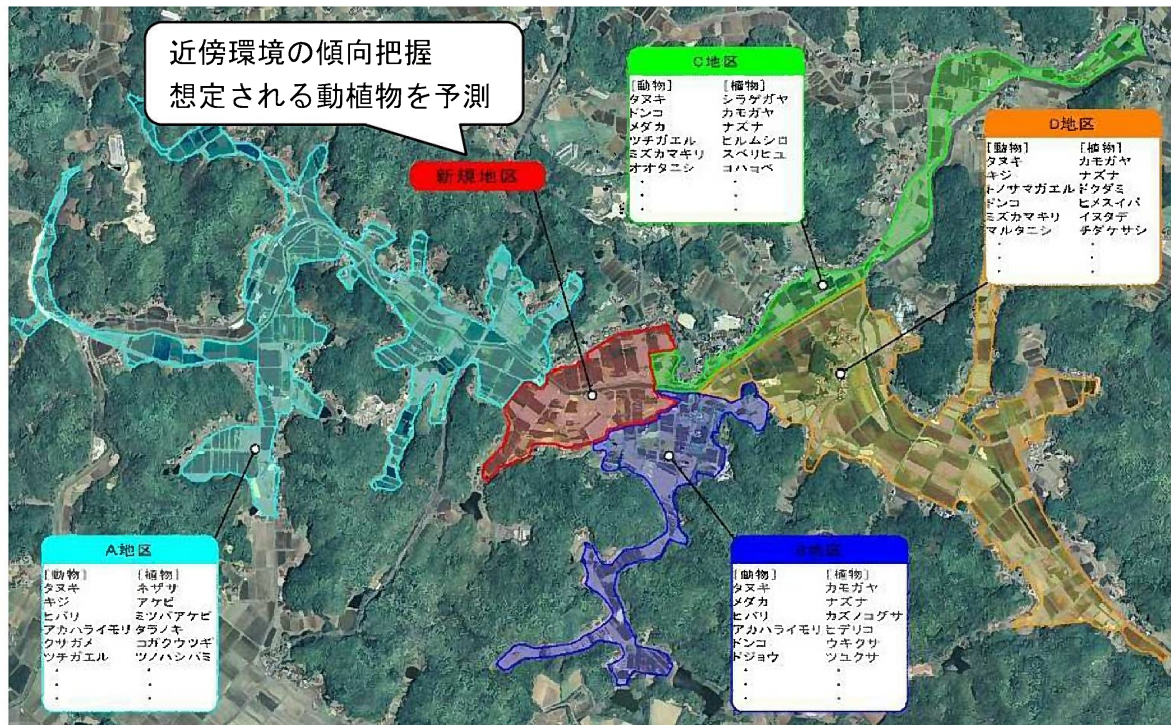
③水土里情報システムを活用し事業区域に調査で確認された動植物のデータを取り込み蓄積することで、簡単に地図上で情報を確認できるようにする。

事業内容データ (事業区域、事業期間…)

環境調査データ (動植物集計表、調査写真…)



取組による効果



一元化・可視化することで、近傍の調査結果から事前にどのような動植物が想定されるか予測し、効率的に調査を進めることができる。（水土里情報システムを活用しなかった場合、10日かかった事前調査・現地調査が7日に短縮）また、情報の共有化も図れる。さらに、データを蓄積することで生態系の豊かな地域が明らかになり保全のための基礎的な資料として活用が期待できる。

今後の活用予定

業務効率化の資料としてだけでなく、事業化に向けた関係機関との協議などでも幅広く活用できるようデータを継続的に蓄積していく。

GISシステムのバージョン情報

GISエンジン：SIS 9 SR1

GISアプリ：水土里Maps ver9.0

■お問い合わせ先

広島県土地改良事業団体連合会 技術支援課 (082-502-7472)